

北アルプス一番街、大町市

西側一帯に3,000m級の北アルプスの雄大な峰々が連なる大町市は、槍ヶ岳を南端に北は五竜岳までを有し、後立山連峰や裏銀座、表銀座などの登山口があります。今も昔も、北アルプスを愛する多くの登山者が訪れています。



市立大町山岳博物館

山博（さんぱく）の愛称を持つ国内屈指の「山」の博物館。北アルプスを中心に自然や人との関わりなどを分かりやすく紹介。付属の動植物園ではカモシカやライチョウ等を観察することができます。

大町登山案内人組合

北アルプス登山の先駆者、登山家で歌人の百瀬慎太郎は、1917年（大正6年）、日本初の山岳ガイド組織となる大町登山案内者組合（現：大町登山案内人組合）を設立しました。

100年以上にわたり受け継がれているこの組織的な活動は、登山者にとって登山がより快適になるとともに、安全面でも大きな役割を果たしています。

“水のふるさと”、大町市

市街地の標高は700m余り。日本最長の信濃川の最上流域にあり“水のふるさと”と呼ばれるほど清らかで豊富な水に恵まれています。湖や渓谷など雄大な自然をごく身近に感じられるまちです。



青木湖

葛温泉・七倉温泉

高瀬ダム

木崎湖

湯俣温泉

七倉ダム

中綱湖

大町温泉郷

大町ダム

木崎湖温泉

黒部ダム

金熊温泉

※黒部ダムの長野県側の玄関口である扇沢駅が大町市にある

文化芸術の名所、大町市

古くからの歴史を持ち国宝や文化財が多いだけでなく、「北アルプス国際芸術祭」など新たな文化芸術の発信も行っている、新旧の文化芸術が融合したまちです。



仁科神明宮

日本最古の神明造り（伊勢神宮と同じ造り）の建物として国宝に指定されている。20年に一度の式年遷宮祭では、600年以上一度も欠かすことなく行われてきた由緒ある儀式が執り行われる。※直近は2019年

若一王子神社

神社でありながら、三重塔や観音堂があり、神と仏を一体とする「神仏習合」の影響を色濃く残す神社。本殿は国の重要文化財に指定されている。全国的に珍しい子ども流鏑馬が毎年7月に開催される。

松崎和紙

国宝仁科神明宮の祭用に神社の奉仕人が製造したのが始まりとされている。和紙作りを体験できるさまざまなコースあり。

靈松寺

室町時代に建立された、長野県内最古の曹洞宗寺院。色とりどりの紅葉が美しく、多くの参拝客が訪れる。